

第73回 「もったいない市」 開催報告

持込み 2026年9月5日(土)・6日(日) 10:00～12:00

持帰り 2026年9月13日(日) 9:30～11:00

参加人数:168名 (大人118名、子ども50名)

< 持込み量:77.65kg 持帰り量:70.90kg リユース率:91% >

= リユース率:本 100%・おもちゃ 100%, 婦人服 86%, 子ども服 84%, 紳士服 100% =



【受取時の様子】

家族で相談しながら大切にされていたお品をお持ち込みいただく姿が多く見られ、物品だけでなく「思い出や想いをつなぐ」温かい場となりました。

- ・子どもの興味の移り変わり（現在はミニカーやトーマスに夢中）に伴い、自宅で眠っていた綺麗な状態のおもちゃを次世代へ提供したいといったお話がありました。
- ・「次の人が使いやすいように」と、家族を代表して各サイズに丁寧に分別して持ち込まれた方がいました。
- ・お気に入りでたくさん着用し使用感がある衣類も、「大好きだった服だからこそ、捨てるのはもったいない。誰かに着てほしい」という愛着と優しさが込められてという愛着と優しさが込められていました。
- ・家族で「次の方に使ってもらおう！」と話し合い、一つの大きな袋にたくさん詰め込んで持ち込んでくださる事例もありました。

【子どもボランティアの活躍】

イベント後半からは子どもボランティアが合流し、主に会場内の物品点検や整理整頓で大活躍してくれました。

お洋服の整理: 衣服を一枚一枚、非常に丁寧に畳み、見栄え良く整えてくれました。

おもちゃの確認・保管: 「どうすれば箱にきれいに収まるか」と試行錯誤しながら、一生懸命に箱詰め作業に取り組む新鮮で微笑ましい姿が印象的でした。

【市開催日の様子】

衣類の充実度: サイズの大きな婦人服が豊富だったほか、紳士服では作業着に使えるものや新品のYシャツがあり、お得感が高かったと喜ばれました。

新品の需要: 新品のハンカチや靴下など、実用的な小物が喜ばれました。

ブロックの自由度: 必要なブロックだけを選んで持ち帰れるシステムが好評でした。

参加者の声: 絵本や児童書の出品数が少なく残念だったという声がありました。ブロックの人気の高さに驚き、「次回は自宅で遊ばなくなったブロックを持参したい」というリピート意欲に繋がる声もありました。

【スタッフの気づき】

- ・会場内では参加者の皆さんが目を輝かせて物品を探す姿が見られました。
- ・前回「ハンガーから服が取りづらい」との意見があったため、大人用衣類コーナーに**点検・袋詰め用の作業机を1台設置**しました。これが功を奏し、多くの来場者が衣服の確認や荷造りにスムーズに活用されていました。
- ・初の試みとして景品に「本（昆虫図解）」を出したところ、ネット検索が主流の現代においても、未就学児～小さなお子様から人気を集めました。
- ・未就学児の親子連れが多数来場されましたが、子ども服の「80サイズ以下」は今回あまり人気がありませんでした。
- ・子ども服やおもちゃを希望される未就学児の保護者の方々へは、次回1月開催予定の「**子ども版 もったいない市**」を積極的にご案内しました。